

2005年 新年の



松前町議会議長

岡田 幸一

明けましておめでとございます。
町民の皆様には、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、日頃の町議会に対する温かいご支援に心から感謝申し上げます。

昨今の地方経済は、国のいう景気上昇の気運は全く感じられず、地域社会は今もお厳しい状況にあります。

地方自治体は、税収や地方交付税、補助金などの減少により大幅な財源不足に苦しんでいます。

政府は、先の11月末に地方分権の推進による「三位一体の改革」の全体像を示しましたが、国庫補助負担金の削減に見合う税源移譲の担保は十分に行わず、地方団体が強く求めていた地方交付税による財源措置についても「一般財源の総額を確保する」としたものの、具体的な説明もなく、歳出削減に引き続き努めるとの方向を明示しています。財源移譲を大幅に上回るこれらの削減は地方財政の懐を直撃し、本町の財政運営にも大きな影響を与えます。

本町でもこのままでは赤字に陥る事態が迫ってまいりました。そのため、これまでの行政運営の方法や制度を点検するための松前町改革会議が設置され、現在実施している事務事業の見直しが行われました。その結果、当面松前町が行政運営を行うために必要とする2億5000万円余りの収支の改善が図れる見通しとなっています。

私たち町議会も自らが率先して、議会予算検討協議会を立ち上げて予算の削減に努めているところでございます。町民の皆様には、本町の将来の町づくりのためにいろいろお願いすることもあろうかと存じますがご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

本町では昨年、かねてから念願の大型商業施設「株式会社フジ」の進出が決定し、平成18年中のオープンに向けて取組が行われています。現在の進捗状況は、11月末現在で計画面積の85%の仮契約が締結されているとのことです。複合型映画館や温浴施設、そしてクリニックまで備えるという大型商業施設は必ずや私たち住民に大きな夢と喜びを与えてくれるものと信じています。本町発展のためにも行政と議会が連携して早期実現に向けて環境づくりに取り組んでまいりますので楽しみにしていただきたいと存じます。

今年も酉年です。昨年は鳥インフルエンザや台風により何十万羽というニワトリが犠牲になり、鳥にとつて受難の年でした。主役の今年こそは大いに羽ばたいてもらって、経済が発展する飛躍の年になりますよう、そして町民の皆様が健康で、幸せな年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

松前町議会

副議長

小野 景史

議員

岡井馨一郎

澤田登代一

松本一二美

早瀬 武臣

重川 利春

伊賀上明治

三好 勝利

木下 淳

藤川 修次

田中 昭雄

三好 悦男

植田 喜晴

亀井 隆典

加納太郎次